

# Library



平成27年5月28日発行  
第2号

## 甲南高校図書館だより

ぐんっと気温も上がり夏のような日差しの中、運動場で部活に精を出す姿が西校舎3階の図書館からよく見えます。気合いの入った声を聞きながら、自習をする人、読書をする人など図書館でも充実の放課後を送っています。あなたもたまには図書館で過ごしてみませんか？

### 迫田文庫に新着図書！

今年度も迫田太さんから寄贈図書が届きました。4月下旬にいただいたものが、貸出準備も完了して新着コーナーに並んでいますので、ぜひ手にとってください。

4月に寄贈された本（ ）内は迫田さんからのコメント抜粋）

『火花』又吉直樹 著、文藝春秋刊（芸能界の厳しい現実体験者だけに主人公たちの心の動き、環境の影響などがうまく書き込まれています）

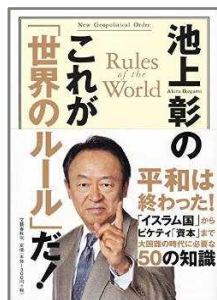
『これが世界のルールだ』池上彰 著、文藝春秋刊（世界の今を知り、的確に対応する道をわかりやすく解説しています）

『反骨士学校』大郷戦策 著、七つ森出版刊（著者はこの小説を「正義感が強く、純粋で綺麗な心を持った」若い人たちに読んでもらいたいと書いています）

『神風二ト特攻隊』荒川祐二 著、地湧社刊（空想小説ですが、特攻基地の様子が書き込まれていて、戦後70年の今、改めて戦争を振り返る一つの問題提起小説でしょう）

『イスラム戦争』内藤正典 著、集英社（現実の隠れた姿を明快に教えてくれます。ニュースを読むときの判断に活かされるでしょう）

雑誌『PHP 5月号』『Voice 5月号』



迫田太さん（甲南高校1期生）

鹿児島大学農学部を経て毎日新聞社に入社。副社長・大阪本社代表を務めて現在同社顧問をしておられます。九州勤務をきっかけに寄贈を始め今年で28年目。ご自分で読んだ本の中から、在校生・職員に読んでほしいものを選んで届けてくださっています。その図書を「迫田文庫」と名付けて専用の棚を設けています。

### 新聞を活用しよう！

みなさんは新聞を毎日読んでいますか？その日のうちに目を通す人もいれば、何日分かをまとめて読むという人もいるでしょう。図書館では、地元紙の『南日本新聞』のほかに、『朝日新聞』『毎日新聞』『読売新聞』の3つの全国紙と、『週刊ST』という英字新聞が揃えてあります。保存は1年間。気になる記事は図書館内でコピーもできますのでどんどん活用しましょう。

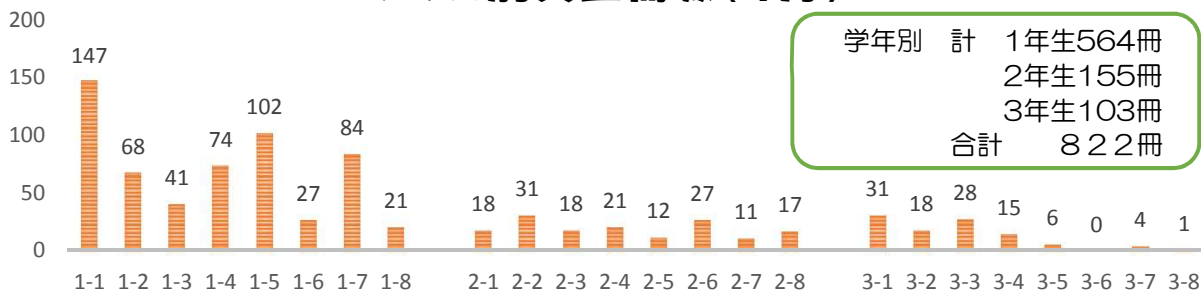
この日刊4紙を読み比べてみるとページ数はもとより、一面のコラムや社説での取り上げ方などそれぞれに違いがあることがわかります。物事を多方面からとらえるいい材料になります。

また、図書館では日刊4紙の社説を1ヶ月分まとめて一覧にしたものを作成しています。小論文や面接などの参考にしたり、時事問題を考えてみたり使い方は自由自在。閲覧用の他に持ち帰り用がありますので、新聞保管棚へどうぞ。

## 4月の貸出は・・・

4月の図書貸出冊数はグラフのようになっています。図書館オリエンテーションが行われたクラス（1-1、1-2、1-4、1-5、1-7）の貸出が多くなっています。（それ以外の1年生は5月実施）高校生活で1冊も本を借りていない（ホワイトカード）という残念なことがないように、図書館を活用して本を借りましょう！

### クラス別貸出冊数(4月)



## 2・3年生のみなさんへ

前学年の時に借りた本を未返却の2・3年生は**大至急返却してください！**  
未返却の中には『鹿の王』など予約が入っている本もあります。

平成27年度からの新図書館管理システムに完全移行するためにも、早めに返却してもらい必要があります。課題研究等で継続して借りたい場合は図書館カウンターまで本を持参し申し出てください。確認・手続きを行います。（予約が入っている本の延長はできませんのでご了承ください。）



## PICK UP ! 辻村深月

今回は辻村深月（つじむらみづき）さんを取り上げます。

辻村さんは1980年生まれ35歳です。幼い頃から読書が好きで、デビュー作『冷たい校舎の時は止まる』は高校生の頃から書き始め、大学4年間で書き上げたとのこと。本やマンガ、ゲームも好きだという彼女の影響を受けたものが、作品のあちらこちらにあらわれています。影響を受けた作家のひとりで大ファンだという「綾辻行人」さんの著作を読んでみるのもよいでしょう。

映像化された『ツナグ』『本日は大安なり』をはじめ、たくさんの著書が図書館に入っています。学校が舞台のものだけ作品によって好みが分かれるので、複数読み比べることをおすすめします。

また、今月28日から読売新聞で初めての連載小説「青空と逃げる」がスタートします。母と息子の逃避行をテーマにした連載になるそうです。読売新聞は図書館の新聞コーナーにあります。読み逃したらバックナンバー棚へどうぞ。この連載小説をきっかけに、新聞を開く習慣がつくといいですね。



もう少しすると、じめじめしとしとの雨模様になるのでしょうか。図書館から借りた本は、濡らさない・汚さない！です。万が一、やっちゃった場合はそのまま図書館まで急いで持ってきてください。自分で乾かしたり繕ったりは絶対にしないでくださいね！